

## ■組織検体の提出方法について

### 【薄切されたプレパレートで提出する場合】

- ・有核細胞中の**腫瘍細胞割合が30%以上**の組織を使ってください。
- ・有核細胞からなる組織の表面積が**25mm<sup>2</sup>以上：5um厚**（剥離防止コートスライドグラス） **x 10～20枚**
- ・有核細胞からなる組織の表面積が**25mm<sup>2</sup>未満：5um厚**（剥離防止コートスライドグラス） **x 30枚**
- ・別に**H.E.染色標本 1枚**と**切出し図**をご用意ください。  
（H.E.染色標本や未染組織は返却できません）
- ・検体ごとにマイクローム刃や薄切水槽の水、グローブを交換するなど、コンタミネーションに充分ご注意ください。他人の検体が混入し、検査が中断になったり、誤った結果となる可能性があります。

### 【組織ブロックを提出する場合】

- ・プレパート作成が自院では難しい場合は、組織ブロックと病理レポートおよび切り出し図をご用意ください。すべての検査が終了した後にブロックを返却いたします。

\* 検査の種類によっては上記よりも少ない検体量でも検査可能な場合がありますので、個別にご相談ください。

- ・採取された組織は速やかに10%中性緩衝ホルマリン溶液に浸漬し、固定を行ってください。  
（推奨固定時間は48時間以内）。
- ・3年以内の標本が望ましいです。

\* **条件に合う組織が入手できない場合は、血液のみを用いるパネル検査も可能**です。